

(1) 館林市議会だより (令和4年5月1日)

たてばやし

市議会だより

第218号

市民の皆さまへお願い♥

手洗いや咳エチケットを徹底し
引き続き「3密」を避けるように
してください。

新型コロナウイルス感染症情報はこちら↓



編集：館林市議会報編集委員会

3月 令和4年度 館林市一般会計予算など20議案が 定例会 決まりました

主な掲載記事

- 本会議のあらまし …… 2～3ページ
- 予算特別委員会 …… 4ページ
- 議員個人の賛否結果一覧表 …… 5ページ
- 一般質問 (11人) …… 6～11ページ
- 常任委員会の審査報告 …… 12ページ



館林市議会ホームページ

<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/li/gikai/index.html>

本会議のあらまし

令和4年館林市議会第1回定例会は、3月4日から3月23日までの20日間の会期で開かれました。

この定例会に市長から提案された議案は、19件で、審議の結果、いずれも原案のとおり同意、承認、可決されました。

また、議員提出議案1件の審議が行われ、全員一致をもって、原案のとおり可決されました。

人事案件

▽教育長の任命について

教育長の小野定さん（大島町）の任期が、本年3月5日をもって満了となることから、後任に川島健治さん（緑町二丁目）を任命した。いととして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、議会の同意を求められたもので、全員一致で同意されました。



教育長
川島健治 さん

条例の改正

▽館林市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例

子ども・子育て会議の所管課の名称を「保健福祉子ども福祉課」から「保健福祉子ども局子育て支援課」に改めるため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

▽館林市国民健康保険条例の一部を改正する条例

全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律及び全世代対応型の社会

保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備等に関する政令の施行により、地方税法施行令の一部が改正されること等に伴い、子育て世帯の経済的負担軽減の観点から、未就学児に係る国民健康保険税の被保険者均等割額について、5割を減額する措置を導入するため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

▽館林市手数料条例の一部を改正する条例

長期優良住宅の普及の促進に関する法律の一部改正により、分譲マンション等の長期優良住宅認定について、住戸単位の認定から住棟単位の認定に変更されたことに伴い、その認定に係る手数料の取扱いについて定めるため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

▽館林市都市計画法に基づき開発許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例

一部を改正する

例Ⅱ分家住宅に係る開発許可基準について、土地所有者の代替わりに引き続き対応していくため、分家住宅に係る開発行為の申請者要件のうち、都市計画区域の線引き日（昭和52年8月31日）以前から土地を引き続いて所有している者の親族の範囲について、「三親等以内の直系血族」を「六親等以内の直系血族」に改めるため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

その他の議案

▽群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議

についてⅡ群馬県市町村総合事務組合の組織団体が、同組合を脱退せずに常勤の職員に係る退職手当支給事務の共同処理を終了する場

合において、同事務に係る負担金の還付又は特別徴収を行うことができるようにするため、また、同組合の組織団体である邑楽館林医療事務組合の名称が本年4月1日から邑楽館林医療企

業団に変更されるため、規約上の名称を変更するなど、組織団体間において同組合規約を変更する協議を行うことについて、地方自治法第290条の規定により、議会に対し議決を求められたもので、全員一致で可決されました。

▽群馬県市町村公平委員会を共同設置する地方公共団体への加入に関する協議についてⅡ本年4月1日から公平委員会の事務を共同処理するため、群馬県市町村公平委員会を共同設置する地方公共団体への加入に関する協議することについて、地方自治法の規定により、議会に対し議決を求められたもので、全員一致で可決されました。

▽財産の無償貸付けについてⅡ地域の食料を安定して供給する地方卸売市場の役割を担うため、館林市総合地方卸売市場の土地、建物等を本年4月1日から令和7年3月31日まで、引き続き館林総合卸売市場株式会社に、無償で貸し付けるこ

と

とについて、議会に対し議決を求められたもので、全員一致で可決されました。



館林市総合地方卸売市場

条例の廃止

▽館林市公平委員会設置条例を廃止する条例
公平委員会の事務を本年4月1日から、群馬県市町村公平委員会において共同処理することに伴い、本条例を廃止しようとするもので、全員一致で可決されました。

専決処分

▽専決処分の承認を求めることについて(令和3年度館林市一般会計補正予算(第7号))
新型コロナウイルス感染症対策に係る補正予算を専決処分し、地方

自治法の規定により、議会に対し承認を求められたもので、全員一致で承認されました。

▽専決処分の承認を求めることについて(令和3年度館林市一般会計補正予算(第8号))
新型コロナウイルス感染症対策に係る補正予算を専決処分し、地方自治法の規定により、議会に対し承認を求められたもので、全員一致で承認されました。

補正予算

▽令和3年度館林市一般会計補正予算(第9号)
2億7680万7000円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ328億8837万4000円とするもので、全員一致で可決されました。

▽令和3年度館林市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
11億139万3000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ77億4912万1000円とするもので、全員一致で可

決されました。

▽令和3年度館林市介護保険特別会計補正予算(第2号)
11億6280万2000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ70億2893万円とするもので、全員一致で可決されました。

令和4年度予算

令和4年度予算は、第6次総合計画に掲げた将来都市像「里沼の息づく 次世代へ安心をつなぐ 暮らしやすいまち 館林」を実現するため、第6次総合計画基本構想における5つの基本目的である「危機対応能力が高く、良好な生活環境で暮らせる 安全安心なまち」、「地域で支え合い 生涯健康で暮らせる 幸福感の高いまち」、「育てる幸せを感じ 生涯にわたり互いに学び続ける 家庭と文化を築くまち」、「都市と自然が調和し 人と産業が躍動する魅力あるまち」、「公民連携を推進し 地域経営の視点を持つ 持続可能なまち」に沿った事業を推進す

るとともに、新型コロナウイルス感染症への対応を図りながら、「少子化対策・子育て支援」、「産業振興」、「まちなか活性化」を重点項目に掲げ、また、市役所が市最大の変化対応サービス業であるとの考えの下、時機に応じた市民ニーズを的確に捉えながら、中長期的な視点で、事業・施策の費用対効果の検証、スクラップアンドビルドによる抜本的な見直し及び優先順位の再検討を行い、予算編成に取り組み、一般会計予算の総額は294億8000万円、前年度比0・5%の増となっています。

また、特別会計(下水道事業会計を含む4会計)予算の総額は、190億6192万9000円、前年度比3・9%の増となっています。(詳細については4ページに掲載)

議員提出議案

▽ロシアによるウクライナ侵略を強く非難する決議
全員一致で可決されました。

【全文】2022年2月24日、ロシアはウクライナへの侵略を開始した。このことにより、民間人を含む多くの死傷者が発生するなど、各国から非難の声が相次いでいる。

このようなロシアの行動は、武力の行使を禁ずる国連憲章の重大な違反である。また、ロシア大統領が、核兵器の使用が可能となる特別警戒態勢を命じたとの報道があるが、核兵器の使用や威嚇は、国際法上、決して許されない。

こうした行為は、唯一の核被爆国として、また、昭和63年12月に「非核平和都市宣言」を制定している館林市の議会として、断じて容認できない。

よって、本市議会は、ロシアによる軍事的暴挙を強く非難し、ウクライナへの攻撃の即時停止と、完全撤退を強く求めるものである。以上、決議する。

令和4年3月7日
館林市議会

予算特別委員会

3月7日の本会議において、予算審査の重要性にかんがみ、議員全員による予算特別委員会を設置。令和4年度一般会計予算をはじめ、4つの特別会計等予算が付託され、14日から16日までの3日間にわたり審査が行われました。審査の結果は、一般会計予算は賛成多数で、特別会計等予算はすべて全員一致で、それぞれ原案のとおり可決すべきものと議決されました。

市長の提案説明による主要な施策

危機対応能力が高く 良好な生活環境で暮らせる 安全安心なまち

自主防災活動を引き続き支援するとともに、防災情報伝達システムの活用やハザードブックを更新し、地域防災力の向上に努めます。また、空き家の利活用助成や除却助成に引き続き取り組み、空き家対策を推進します。さらに、太陽光発電システムを利用した蓄電池設備の設置費補助を引き続き実施し、家庭における温室効果ガス排出抑制や災害時の停電に備えるなど、たてばやし5つのゼロ宣言に基づく施策を推進します。

地域で支え合い 生涯健康で暮らせる 幸福感の高いまち

高校生世代の入院医療費を引き続き助成し子育て支援を推進するほか、新たに、医療用ウィップや胸部補整具の購入費用を助成し、がん患者の療養生活の質の向上や就労などの社会生活を支援します。また、健康寿命の延伸を図るため、野菜摂取推進店(ベジ活応援店)登録制度や運動活動量計を活用した健康づくりを引き続き実施します。さらに、子宮頸がんワクチン接種において、積極的勧奨を差し控えていた期間に接種機会を逃した17歳から25歳までの未接種の方に対しても実施するほか、新型コロナウイルスワクチンの接種など、疾病予防に努めます。

育てる幸せを感じ 生涯にわたり互いに学び続ける 家庭と文化を築くまち

新生活を始めるための費用を支援する結婚新生活支援補助を引き続き実施するとともに、新たに、こども誕生祝金を支給し、少子化対策に努めるほか、妊婦の歯科健康診査や多胎妊婦の健康診査費用を新たに助成するとともに、母子保健コーディネーターによる産前産後サポーターの派遣や産後ケアなど、妊娠から出産、子育てまでを包括的に支援するための妊娠・出産包括支援事業を継続し、安心して子どもを産み育てられる環境づくりに取り組みます。また、「コミュニティ・スクール」(学校運営協議会制度)を全小・中学校で実施し、地域の教育力を学校運営に生かすほか、英語指導助手を全小・中学校に配置し、授業の充実や英語交流事業の実施に取り組むとともに、実用英語技能検定料補助を引き続き実施し、英語教育を推進します。また、園児の減少や共働き世帯の増加に対応するとともに幼稚園の効率的な運営を図るため、公立幼稚園の認定こども園化を推進するほか、第二小学校屋上防水や第三中学校管理・特別教室棟外壁の改修工事、ダノン城沼アリーナの空調設備設計を実施し、公共施設の整備を推進します。さらに、日本遺産推進事業において、引き続き「里沼」を生かした体感型の事業を展開するとともに、日本遺産推進協議会が実施する普及啓発活動などを支援し、シビックプライドの醸成、ブランド力向上及び交流・定住人

口の増加を図ります。

都市と自然が調和し 人と産業が躍動する 魅力あるまち

企業誘致と市内企業の活性化による雇用機会の創出及び税収の増加を図るため、新たな産業団地等の整備に取り組むほか、ほ場整備による農地の大区画化、担い手への集積・集約化を図るため、地域の農業者や関係機関との連携・協議により事業化に向けた営農計画及び事業計画の作成などを推進します。また、まちなかのにぎわい創出に向けて、中央通り線沿線の民地を活用した中央通り線出店促進事業を実施するとともに、創業支援事業の空き店舗改装費等補助において、ウォークابل・にぎわい創出ゾーンへの出店に補助を追加するほか、店舗ウエルカム補助金を創設し、市内及びまちなかのにぎわい創出と活性化を図ります。また、Uターン支援奨励金や正規雇用促進奨励金、移住定住促進通勤支援金などを引き続き実施するほか、新卒就職者の市内事業所への就職を奨励するための定住新卒就職者奨励金を新たに支給し、雇用の確保と安定、定住促進に努めます。さらに、広域バス路線の再編に合わせ、市内生活路線である(仮称)六郷西線を整備し、地域公共交通計画に基づくまちづくりと連携した持続可能な公共交通ネットワーク再構築を目指すほか、高齢者通院等タクシーの用途制限を撤廃し、利便性を向上させるとともに、バスとタクシーの連携強化を図ります。

公民連携を推進し 地域経営の視点を持つ 持続可能なまち

定住促進通学支援金や移住促進まちなか新築住宅取得支援金、市有地活用移住定住支援金を引き続き支給し、市内やまちなかへの移住定住促進を図ります。また、ふるさと納税制度を活用し、自主財源の確保とともに本市の特産品を返礼することにより地域振興を図ります。さらに、AI議事録や電子決裁・電子文書管理システムの導入など、行政のデジタル化を推進するとともに、ソーシャルメディアやホームページ、広報紙を活用し、より積極的・効果的な情報発信に努めます。

このほかとしまして、未だ収束の見通しが立たない新型コロナウイルス感染症への対応として、ワクチン接種事業をはじめ、商業金融対策事業、農業者収入保険加入促進助成金、新しい生活様式対応型事業者支援補助金、オンライン学習「スタディサプリ」などを継続して実施するほか、新たに緊急雇用創出事業、選挙における期日前投票所の増設、小中学校へのICT学習指導員の配置など、感染症対策やウィズコロナ下における社会経済活動を支援し、市民の生命と生活及び地域経済を守っていきます。

令和4年度 一般会計予算

歳 入			歳 出		
項 目	予算額(千円)	構成比(%)	項 目	予算額(千円)	構成比(%)
市 税	11,427,470	38.8	総 務 費	2,608,279	8.8
地方交付税	2,410,000	8.2	民 生 費	9,656,903	32.7
国庫支出金	3,842,139	13.0	衛 生 費	4,226,519	14.3
県支出金	2,515,703	8.5	商 工 費	2,091,125	7.1
繰 入 金	2,085,445	7.1	土 木 費	3,614,291	12.3
諸 収 入	2,185,439	7.4	教 育 費	3,354,647	11.4
市 債	1,891,800	6.4	公 債 費	2,185,201	7.4
そ の 他	3,122,004	10.6	そ の 他	1,743,035	6.0
計	29,480,000	100.0	計	29,480,000	100.0

一般会計予算は過去最大となる
総額294億8000万円

令和4年度 特別会計予算

会 計 別	予算額(千円)	
国民健康保険特別会計	8,214,332	
介護保険特別会計	7,126,220	
後期高齢者医療特別会計	1,104,727	
下水道事業 会 計	収益的支出	1,439,318
	資本的支出	1,177,332

議員個人の賛否結果一覧表

議案等名	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	結果
	議員名	松本隆志	柴田信	平井玲子	今野郷士	川村幸人	齊藤晋一	森田武雄	渋谷理津子	権田昌弘	櫻井正廣	齊藤貢一	篠木正明	吉野高史	遠藤重吉	野村晴三	向井誠	井野口勝則	小林信	
議案第1号 教育長の任命について		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第2号 群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第3号 専決処分の承認を求めることについて(令和3年度館林市一般会計補正予算)		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第4号 専決処分の承認を求めることについて(令和3年度館林市一般会計補正予算)		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第5号 群馬県市町村公平委員会を共同設置する地方公共団体への加入に関する協議について		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第6号 館林市公平委員会設置条例を廃止する条例		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第7号 館林市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第8号 館林市国民健康保険税条例の一部を改正する条例		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第9号 館林市手数料条例の一部を改正する条例		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第10号 館林市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第11号 財産の無償貸付けについて		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第12号 令和3年度館林市一般会計補正予算(第9号)		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第13号 令和3年度館林市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第14号 令和3年度館林市介護保険特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第15号 令和4年度館林市一般会計予算		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	原案可決
議案第16号 令和4年度館林市国民健康保険特別会計予算		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第17号 令和4年度館林市介護保険特別会計予算		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第18号 令和4年度館林市後期高齢者医療特別会計予算		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第19号 令和4年度館林市下水道事業会計予算		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出議案第1号 ロシアによるウクライナ侵略を強く非難する決議		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※野村晴三議長は採決に加わりませんので「-」となっています。

【○：賛成 ●：反対 欠：欠席】

スマートフォンやタブレットからも視聴できます！

ホームページ
市議会のHPをぜひご覧ください

<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/li/gikai/index.html> 市議会トップページ➡



←ライブ&録画映像配信はこちら

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/tatebayashi/WebView/rd/council.html>

なお、各議員の質問の様子は、次のページからの「二次元コード」を読み取るとご覧いただけます。

会議録の検索はこちら➡

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/tatebayashi/pg/index.html>

市議会だよりは、紙面の都合で本会議の要旨を掲載しています。

詳しくお知りになりたい場合は会議録をご覧ください。

※3月定例会の会議録は、6月上旬に掲載の予定です。



一般質問

今定例会における一般質問は、3月8日・9日の2日間にわたり行われ、11人の議員が市政全般に対する諸問題について市の所信をいただきました。内容は広範にわたっておりますので、その要旨を掲載いたします。

(本文は質問者本人が要約したものです。)

市政を問う!!

3月8日

権田 昌弘 議員 (6ページ)

- 義務教育課程の取組について
- 投票所の取組について

渋谷理津子議員 (7ページ)

- 美味しい給食の提供について
- 板倉町との合併協議について

平井 玲子 議員 (7ページ)

- 窓口サービスの向上について
- パートナーシップ宣誓制度の導入について

向井 誠 議員 (8ページ)

- 道路行政について
- 通学路の総点検について
- 新型コロナウイルス感染症について
- 障がいがある方へのユニバーサルシートについて

松本 隆志 議員 (8ページ)

- 国道354号館林インターチェンジ前交差点の渋滞対策について
- 館林インターチェンジ周辺開発について

柴田 信 議員 (9ページ)

- 本市の第6次総合計画における基本目的IIの福祉と健康の地域福祉について
- 第6次総合計画の基本目的の28、人権の尊重に関する現状と課題における多文化共生社会への対応について

齊藤 晋一 議員 (9ページ)

- 介護支援ボランティアについて
- 館林市金券について
- 地域通貨について

齊藤 貢一 議員 (10ページ)

- 館林市公共施設等総合管理計画の改定案について
- 板倉町との合併協議休止の延長について

3月9日

小林 信 議員 (10ページ)

- 交通安全対策と高齢者等の移手段の確保について

篠木 正明 議員 (11ページ)

- 学校給食の現状と課題について

吉野 高史 議員 (11ページ)

- 教育委員会での教育会議と各小・中学校の具体的関わりについて
- 市長就任から1年が経過したが見えてきた多くの課題について

※一般質問通告書の質問事項を掲載



義務教育課程の取組と投票所の取組について

権田 昌弘 議員



質問 本年4月から、LGBTQの方への配慮や防寒対策などの対応として、各

中学校においてスラックスを導入し、制服が選択制になります。今後さらに改善に取り組み考えは。

答弁 保護者の金銭的負担について協議するため、制服検討委員会を発足し、さ

らなる対応を検討します。

質問 中学校ごとに制服のデザインが異なるため、価格も違い、金額の差が発生しています。制服の統一化についての考えは。

答弁 ご指摘のとおり、金銭的な負担に差が生じています。統一することで、解消につながることを考えら

れます。制服検討委員会において検討していきます。

質問 小中一貫校、小中一貫教育への考えは。

答弁 将来的には、中学校区を基本に、小中連携、一貫教育校にすることも一つの方向性と考えられます。小中学校が情報交換や交流を通じ、義務教育9年間の教育活動を理解することで、9年間の系統性を確保し、小学校教育から中学校教育への円滑な接続が図られるよう、小中連携を一層推進

したいと考えます。

質問 選挙割を行うことで投票率が上がり、経済的効果もあると認識しています。が、継続、拡充を具体的にどこで行うのか。

答弁 これまで実施していただいた事業者のほか、一人でも多くの事業者が、ご賛同、ご参画いただければ、周知を行います。

質問 期日前投票所の増設をどのような場所で検討しているのか。

答弁 総務省は、シヨッピ選挙イメージキャラクター



とうひょうくん

質問 駅構内への設置は、先進的な取組として徐々に普及しているようです。選挙管理委員会において慎重に協議を行います。

おいしい給食の提供と 板倉町との合併協議について



渋谷 理津子 議員



質問 新しい給食センターでは、上質なサービスが提供されているのか。

回答 PFI方式で、市の要求水準書に対して事業者が提案書を作成し、モニタリングを通して高品質な学校給食が維持されています。

質問 おいしい給食かどうかについては、第三者や児童生徒の評価を取り入れるよう要望する。地場産品は、どのようなものを使っているのか。

回答 本市産は、米が「あさひの夢」を100%、野菜はナス、ゴーヤ、かき菜が100%、キュウリ等も含め地場産使用率は、重量ベースで約39%です。豚肉

は群馬県産、鶏肉は国内産、魚は北海道や三陸、千葉のほか、海外産もあります。

質問 冷凍食品やレトルト食品は、どのようなものを使っているのか。

回答 ハンバーグ、オムレツや野菜の一部、冷凍液卵、ゼリーやタルトなどです。

質問 将来にわたり安定して食材を調達していくためにどのように対応するのか。

安全・安心な学校給食を安定的に提供する責務があると考えています。

要望 昨年の子ども議会では、「館林で収穫されたものだけで各学校に献立を考えてもらう」ことが提案された。衛生面や安定的な提供のほか、おいしい給食を目指すよう要望する。

回答 閉店する青果店もあり、野菜や果物類の安定した調達は厳しくなりますが、

質問 去る2月25日に板倉町長が同席し合同記者会見を行ったが、合併協議会の再開について、市長はどのように考えているのか。

た制度を検討ください。

回答 合併協議会は、「機が熟していない」ため再開を見送りました。今後、社会的環境の変化により、開催が必要となった場合に再開できるよう努めます。

質問 広域連携については、どのように考えているのか。

回答 邑楽郡との連携を深めることが重要で、交通ネットワーク、広域防災、行政のデジタル化などの分野で互いに研究し具現化すること、この地域の発展につながるよう取り組みます。

窓口サービスの向上と パートナースhip宣誓制度について



平井 玲子 議員



窓口サービスの向上

質問 市民課窓口業務の現状について伺います。

回答 令和3年度における住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍証明等の交付件数は、多々良連絡所を除き2月末の累計で6万1224件、一日当たり278.3件です。住民異動届は6

829人分、一日当たり平均31人分、戸籍の届出は1880件、一日当たり平均5.6件です。

質問 来庁者が申請書を書かずに申請できる「書かない窓口」導入の考えについて伺います。

回答 先進事例の把握や他の市の導入状況を踏まえ、今

後研究していきます。

質問 死亡届の届出件数について伺います。

回答 平成30年度863件、令和元年度810件、同2年度932件です。

要望 多い方は9つの部署にわたる手続きが必要ですが、遺族の負担を軽減するため、死亡に伴う各種手続きをワンストップで済ませることができると「おくやみコーナー」を設置している自治体があります。先進事例を研究し、本市の状況にあっ



パートナースhip宣誓制度

質問 群馬県のパートナースhip宣誓制度の認識は。

回答 同性であることを理由に婚姻できない2人がパートナーとして生活を共に

することを宣誓し、証明書を発行するもので、約1年間で20組が宣誓しました。

要望 この制度で利用できるサービスは、県営住宅への入居や、病院において家族としての対応が可能となるほか、県が新婚夫婦や結婚予定者に発行している「ぐんま結婚応援パスポート」の配付対象にもなりま

す。県の制度に協力している市、市のサービスとしては市営住宅の入居を可能にするよう要望します。



道路行政・通学路・ワクチン接種 ユニバーサルシートについて

向井 誠議員



道路の危険箇所のお知らせ

質問 危険箇所をスマートフォンで撮影し、通報できるシステム導入の考えは。

答弁 情報が即時に把握できるため、業務の効率化につながるかと認識しています。システムの運用に100万円近い費用が想定されるので、費用対効果について調

査・研究を進めます。

通学路の安全対策について

質問 通学路の危険箇所への対応は。

答弁 通学路の安全点検の中で、国道や県道は土木事務所が、規制に関しては警察署が担うため、教育委員会としては、安全安心課や道路河川課などと連携し、



国道354号館林インター前交差点 渋滞対策、館林インター周辺開発について

松本 隆志議員



国道354号渋滞対策

質問 館林インター前交差点の渋滞発生要因と、講じたきた対策を伺います。

答弁 インターへ向かう2車線道路のうち1車線が右折車線となり、一時的に直進の車線が減少することが渋滞の大きな要因と考えます。群馬県や県警と協議し、

右折矢印信号の導入や信号サイクルの変更等、段階的に対策を講じてきました。

質問 渋滞解消に向け、インター入口をトランプット構造に改修する考えについて伺います。

答弁 進入路の動線や国道との建築限界、周辺施設への影響等、様々な構造的課

通学路の安全対策を進めていきたいと考えています。
ワクチン3回目接種

質問 新型コロナウイルスワクチンの3回目接種の状況は。

答弁 本市の接種状況は、3月7日現在の接種率で全体は19・1%、65歳以上の高齢者は43・8%です。群馬県全体は、接種率29・4%で本市の接種率を約10ポイント上回っています。

質問 本市が県より10ポイント下回っている原因は。

題があります。行政の提示する方策は「群馬県域移動性安全性向上委員会」に諮られ検討されるので、県と情報共有を密に行い、積極的に協力していきます。

要望 邑楽郡と館林の自動車交通の核である館林インターの改修実現に向け、取り組むようお願いいたします。

館林インター周辺開発

質問 地元地権者より提出された地域の有効活用を要望書を受けて、検討した内容について伺います。

答弁 接種券の発送が遅れているのが一番の原因で、今後は2回目接種から6か月間隔での速やかな接種券の発送を行っていきます。

ユニバーサルシートの設置

質問 乳幼児のおむつ交換のためのベビーシートと違い、大人でも使える大型のシートの設置の考えは。

答弁 大人も横になれるベツドタイプのシートは、本市では市庁舎1階の多目的トイレ、障がい者総合支援センターのトイレ、館林駅

答弁 産業や観光の複合拠点として、企業進出の可能性や開発手法などの検討をしています。今後も農業、工業、商業、様々な角度で民間企業の意見も聞きながら検討を重ねていきます。

質問 今後の事業化に向けての課題について伺います。

答弁 市街化区域編入のため、マスタープランとの整合性を図る必要があり、また、移転費用等高額な事業費が見込まれ、民間と連携した開発が条件となります。

西口広場の公衆トイレに設置しています。必要性の高いものと認識していますので、今後は、公共施設の障がい者用トイレの改修時期に合わせて、施設担当課に協議・依頼したいと考えています。



質問 市長は「館林インター周辺に大型商業施設を誘致することが活力あるまちづくりになる」と言われませんが、どのような業態を誘致するのか伺います。

答弁 今後のまちづくりの根幹をなす事業と認識しており、非日常的な空間や豊かな時間を過ごせる場所など、市内外から誘客可能な施設の誘致を考えています。
要望 地域経済活性化に向けたインター周辺開発に取り組むようお願いいたします。



柴田 信議員

第6次総合計画における福祉と健康の分野で地域福祉についてと多文化共生社会への対応について

質問 多様化、複雑化した福祉ニーズの増加への対応について問う。

し、対応しています。

質問 個別の課題について

質問 地域共生社会体制整備構築事業の内容について問う。

は、それぞれの窓口で対応しており、それと並行して多様化、複雑化した課題については、包括的な窓口として「ふくし総合相談窓口」を令和2年4月に開設

回答 相談支援、地域住民参加支援、地域づくりに向けた支援などを一体的・包括的に実施するものです。
質問 地域活動の担い手について問う。

回答 「ふれあいのまちづくり事業」に補助金を出し、福祉ボランティアの拠点となる福祉ボランティアセンターの設置、また、その活動に必要な知識や技術を身につけるためのボランティア養成講座の開催のほか、福祉体験などを行う小・中学生に対するボランティアスクールの実施など、新たなボランティアの育成にも取り組んでいます。

回答 要支援者等に対する地域での見守りの強化や関係機関との連携強化によって、行政相談窓口につないでいくことを行っています。
質問 多文化共生社会への対応に関連して、現在の在留外国人市民に対する新型コロナウイルス接種の支援について問う。

インフォメーションカウンターを設置し、17の言語で書かれたワクチンに関する説明書や接種に必要な予約票等を準備し、相談に応じています。このほかライオンで予約する際に日本語が読めない方には、予約操作の補助なども行っています。



齊藤 晋一 議員

介護支援ボランティア制度 館林市金券・地域通貨について

質問 介護支援ボランティア制度の概要を伺います。

ントは、館林市金券などに換金できる制度です。

回答 高齢者が介護支援ボランティアの活動、社会参加や地域貢献を行い、自身の健康増進を図っていくことを目的とし、ボランティア活動をを行った65歳以上の高齢者に換金可能なポイントを付与するもので、ポイ

質問 館林市金券のメリット・デメリットは。

回答 市民へ交付する各種補助金や祝金など、現金交付に比べ、一定期間内に経済循環する仕組みとして大変効果があります。登録店舗は、登録店一覧に掲載さ

れるPR効果にメリットを感じている一方で、使用者からは釣銭が出ない、額面500円以下にして使いやすさとの声があります。また、贈答用として好評です。
質問 館林市金券の今後について伺います。

や店舗の環境変化への対応状況を踏まえ、金券のあり方について研究します。
質問 地域通貨をどのように認識していますか。
回答 現金を使わないキャッシュレス決済が可能で、地域経済の活性化や社会交流の促進のために活用するものと認識しています。
質問 地域通貨の今後について伺います。

が増えています。地域社会を取り巻く環境が目まぐるしく変化する中で、新たな自治体経営が求められており、地域内に資金が循環する仕組みを考える必要があります。地域通貨の導入意義、メリット、課題等を研究していきます。
要望 検討や実験的導入、徐々に制度移行することで電子通貨が実現できればと思います。時代の流れに遅れないよう早期に導入の検討をお願いします。



合併協議会の休止延長について

齊藤 貢一 議員



質問 今回の休止決定の中

で、一番大事なことは、現状について、市民の皆様説明責任を負うということ。市長はよい部分ばかり強調し、負の部分については表に出しませんでした。負の部分が多すぎ、市民の利益につながらないから休止する。そういう説明はし

ないのか伺います。

答弁 選挙時には、合併で得られるメリットを強調し、市民の皆様強く申しあげてきました。住民サービスを高いほうに合わせた場合の詳細な支出額や将来にわたる財政シミュレーションを提示すればよかったです。勉強不足であったと

思っています。

質問 まさか市長から勉強

不足という言葉が出ると思いませんでした。知って当然のことで、その上で合併を進めることが本来の取組です。今さら勉強不足と言われても迷惑するのは市民だけです。その上で伺いますが、合併協議会休止の記者会見当日の全員協議会において、板倉町への新しい提案は行わなかったのかと質問しましたが、市長は言葉を濁し答えていた

だけませんでした。しかし、新聞報道では、合併後も板倉地域だけ給食費を無料にするとの提示があったが、継続する担保がなく、

町民の利益を考え、断つたと板倉町長の談話があります。議員に答えずに裏取引のようなことをしているのですか。編入合併とはいえ、お互いに協働の下、新市発展と市民福祉向上に力を合わせ、平等な立場で利益を共有するのが合併の意義であるのに、自身の保身と市

民の利益を秤にかけ、保身を選んだとしか思えません。

市長の資質に欠ける提案であり、一国二制度につながりかねません。一旦離職され、9月の市議選と市長選、出直し選挙をしませんか。
答弁 私の今後につきましては、合併を諦めたわけではありませんので、引き続き努力しながら、また、機の熟すことを深めながら、これからも市政運営に邁進させていただきたいと考えています。



交通安全対策と高齢者等の移動手段の確保について

小林 信議員



道路の整備や歩道の設置は

質問 第11次館林市交通安全計画では、バリアフリー化推進のため歩道の整備を促進し、高齢者や障がい者が安全で安心して移動できる道路交通環境づくりを推進するとうたわれています。道路の整備や歩道の設置の現状は、どのようになって

いるのか。また、高齢者いきいきプランでは、高齢者人口の推移が、平成26年に

対し、令和2年では大幅に増加しており、また、高齢世帯も増加しているが、介護の実情は、どのようになっているのか。

老々介護の現実も

答弁 自転車歩道を通行

できるのは、通行標識や道路標識で指定された場所か、13歳未満の子どもや70歳以上の高齢者などとされており、自転車道の整備が急がれていきます。市道は893・6kmあり、歩道の延長は60・7kmです。また、介護者の年齢では、最も多いのは60歳代ですが、70歳以上の方が3分の1を占めており、老々介護の現実を読み取ることができません。

電動カートは歩行者扱い

質問 特に歩道の整備が遅

れており、幅員も狭い状況です。最近、高齢者の移動手段として、電動カートと言われる三輪車や四輪車が増えてきており、これらは歩行者扱いなので、歩道を通行することになるが、現状の歩道で対応できるのか。また、電動カートの購入補助金を千代田町などで実施しているが、本市の考えはどうなのか。

他市の状況を参考に検討

答弁 シニアカーなどの利用もこれから増えてくると

思います。すぐに歩道までは整備できませんので、安全に通行できる道路の路肩等の修繕を進めていきます。助成制度については、他市の状況を参考に検討していきます。





学校給食の現状と課題について

篠木 正明 議員



質問 現在の学校給食センターは「自校方式の良いところを取り入れたセンター方式」という整備方針で建設されましたが、食育の推進のために整備された見学コースは、どのように活用されていますか。

体1694名の方に見学していただいています。

質問 見学者のうちの児童生徒の数が問題です。以前の答弁では、平成30年度は3校136人、令和元年度は4校284人でした。給食室に代わる食育のための見学コースですから、すべての児童生徒が小中学校の

9年間で最低1回は見学できるようにしなければなりません。どのように行うのですか。

答弁 積極的に利用していただきたいと校長会を通じて要望したいと考えていますが、施設見学には職員がどこまで対応できるかという問題もあります。

質問 今年度から卵の除去食を始めましたが、アレルギー対応品をどう増やしていくのですか。

今年度から卵の除去食を始めましたが、アレルギー対応品をどう増やしていくのですか。

答弁 今、乳の除去食につ

いて研究、検討を行っています。なるべく早い段階で乳製品の対応食も実施したいと考えています。

質問 アレルギーの対応品目を増やす上で、課題となるのは人的配置だと思えます。旧センターの時は県の栄養士が4人から5人配置されていたと思いますが、新センターでは2人に減らされました。アレルギー食対応のために市の栄養士が2人いますが、アレルギー対応品目を増やすには、市の栄養

士を増やさなければなりません。食育の対応の面でも栄養士の増員は必要ではないですか。

答弁 県の栄養士が5人いた時は、食育についても充実した活動ができていたと思えます。アレルギー対応食については、市の栄養士を配置して対応している状況です。増員していただきたい思いはありますが、全体の中で協力してやっていく体制を取っていきたいと思います。

質問 精査する時間が必要ですが、精査する時間ほどのくらいなのか、いい加減な答弁は駄目である。この記者に聞いたら私は逆切れされた。市長がフェイスニュースを流したのか記者が流したのか、はっきり教えてください。

精査する時間が必要ですが、精査する時間ほどのくらいなのか、いい加減な答弁は駄目である。この記者に聞いたら私は逆切れされた。市長がフェイスニュースを流したのか記者が流したのか、はっきり教えてください。

答弁 いろいろな指摘は、十分推測できます。

いろいろな指摘は、十分推測できます。

質問 きちんと答えておらず、とりあえず市長がフェイスニュースを流したと理解した。給食費の無料化問題をどう考えるのか。

きちんと答えておらず、とりあえず市長がフェイスニュースを流したと理解した。給食費の無料化問題をどう考えるのか。

答弁 合併協議のいかんに関わらず、検討すべきと認識しています。

合併協議のいかんに関わらず、検討すべきと認識しています。



市長の選挙公約等の問題点について

吉野 高史 議員



質問 議会は二元代表制として市長と共に独立・対等な立場で緊張関係を保ち、互いに抑制・均衡を図りながら自治体運営を行うわけである。議員には「聞く権利」、市長には「答弁する義務」があり拒否できない立場にある。議会に何ら相談や報告もなく、合併協議

についての報道があったことは、議会軽視も甚だしく大変な問題と捉えているが、市長はどのように考えているのか答えてください。

答弁 議員は市民の代表で、責任ある立場とっています。今後とも吉野議員には、ご指導いただきたい。

質問 投票行動に大きな影

投票行動に大きな影

答弁 今、記事を見たので

今、記事を見たので

記者に市議会の一部が反対したと言ったのか。

記者に市議会の一部が反対したと言ったのか。

今、記事を見たので

常任委員会の審査報告

総務文教

付託された案件は「群馬県市町村公平委員会を共同設置する地方公共団体への加入に関する協議について」及び「館林市公平委員会設置条例を廃止する条例」の議案2件で、採決の結果は、2議案とも全員一致をもって可決すべきものと議決されました。

市民福祉

付託された案件は「館林市国民健康保険税条例の一部を改正する条例」の議案1件で、採決の結果は、全員一致をもって可決すべきものと議決されました。

そのほか、市民協働課から第6次館林市男女共同参画基本計画の概要について、社会福祉課から第四次館林市地域福祉計画の概要について、及び、第四次館林市障がい者計画の概要についての報告がありました。

経済建設

付託された案件は議案3件で、まず、「館林市手数料条例の一部を改正する条例」及び「館林市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例」については、採決の結果、2議案とも全員一致をもって可決すべきものと議決されました。

次に、「財産の無償貸付けについて」は、現地調査を行った後に審査を行い、採決の結果、全員一致をもって可決すべきものと議決されました。



総合地方卸売市場の現地調査

また、議会から推薦する各種委員会等委員のうち、

館林市労使教育委員会委員に齊藤貢一議員を、館林市都市計画審議会委員に齊藤貢一議員と松本隆志議員をそれぞれ選出しました。

議員・職員等 合同研修会を開催

館林市における
災害時の広域避難について



講師 片田敏孝氏

去る2月10日、東京大学大学院情報学環特任教授の片田敏孝氏を講師にお招きし、議員・職員等合同研修会をオンラインにより開催しました。

同研修会には、本市職員や商工会議所の方々などにも多数ご参加いただき、「館林市における災害時の広域避難について」と題し、災害が頻発する昨今、広域避難の重要性について、講師が実際に携わった事例を交えて分かりやすくご解説いただきました。

議会傍聴者の皆さまへのお願い

新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、傍聴に来られる皆さまにおかれましては、マスクの着用や傍聴席入口において、消毒液による手指の消毒など、感染防止対策にご協力をお願いいたします。

【6月定例会の予定】

- 6月 3日(金) 本会議＝会期の決定、議案提案説明など
- 6日(月) 本会議＝議案に対する質疑、委員会付託など
- 7日(火)・8日(水) 本会議＝一般質問
- 9日(木)・10日(金) 委員会＝常任委員会（総務文教・市民福祉・経済建設）
- 16日(木) 本会議＝表決



☆本会議は午前10時開会予定です。会議の日程、時間等は変更になることもあります。
 ☆一般質問の通告順位表は、6月1日(水)から市のホームページでご覧いただける予定です。
 (<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp> ⇒ ページ下部の市議会をクリックしてお入りください。)